

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年1月14日

**【四半期会計期間】** 第13期第2四半期（自平成25年9月1日至平成25年11月30日）

**【会社名】** 日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社

**【英訳名】** Medical Net Communications, Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 平川 大

**【本店の所在の場所】** 東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目34番14号

**【電話番号】** (03) 5790-5261

**【事務連絡者氏名】** 管理部ゼネラルマネージャー 三宅 大祐

**【最寄りの連絡場所】** 東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目34番14号

**【電話番号】** (03) 5790-5261

**【事務連絡者氏名】** 管理部ゼネラルマネージャー 三宅 大祐

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第12期 第2四半期 連結累計期間	第13期 第2四半期 連結累計期間	第12期
会計期間		自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日	自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日	自 平成24年6月1日 至 平成25年5月31日
売上高	(千円)	516,251	620,535	1,163,377
経常利益	(千円)	60,037	71,944	119,969
四半期(当期)純利益	(千円)	30,933	36,253	63,311
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	31,030	36,391	64,919
純資産額	(千円)	1,114,927	1,182,821	1,151,816
総資産額	(千円)	1,483,715	1,593,916	1,551,162
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	6.02	6.73	12.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	5.75	6.73	11.75
自己資本比率	(%)	73.73	72.95	72.94
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	56,473	30,546	154,138
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	69,662	103,100	63,593
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	9,673	5,155	6,736
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	727,337	756,300	834,009

回次		第12期 第2四半期 連結会計期間	第13期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日	自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	3.97	4.35

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済対策や日銀による金融緩和策への期待感から、円安や株価の回復が進み、昨年末以来、景気回復の傾向が続いておりました。しかしながら、雇用・所得環境や消費マインドの持ち直しへの期待が高まっているものの、景気回復の実感には至っておらず、海外景気の下振れが引き続き景気を下押しするリスクとなっており、先行き不透明な状態が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、当社グループが運営するポータルサイトの充実とともに、保証事業、医療BtoB事業、人材キャリア事業等の新規事業の拡大に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は620,535千円（前年同四半期比20.2%増）、営業利益は71,215千円（前年同四半期比20.3%増）、経常利益は71,944千円（前年同四半期比19.8%増）、四半期純利益は36,253千円（前年同四半期比17.2%増）となりました。

なお、セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ポータルサイト運営事業

ポータルサイト運営事業においては、歯科分野及び美容・エステ分野を中心に「インプラントネット」、「エステ・人気ランキング」等のポータルサイトを運営しております。

当第2四半期連結累計期間においては、各運営サイトの認知度向上を図ると共にスマートフォンサイトや都道府県別の特集等の広告枠の追加を通じて、販売拡大に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は308,452千円（前年同四半期比11.4%増）、セグメント利益は196,023千円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

## SEM事業

SEM事業においては、当社ポータルサイトのクライアントを中心に積極的にSEOサービス及びリスティング広告（検索連動広告）運用代行サービスの販売に努めましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は136,801千円（前年同四半期比7.7%減）、セグメント利益は2,853千円（前年同四半期比69.3%減）となりました。

## 保証事業

保証事業においては、連結子会社の株式会社ガイドデントを通じて、歯科自由診療を行う歯科医院のうち、当社グループが定める基準を満たした歯科医院（認定会員）に対して、治療前に登録した治療に関して治療後に再治療が発生した際の費用を保証するサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、認定会員や保証件数の拡大に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,839千円（前年同四半期比24.2%増）、セグメント損失は11,620千円（前年同四半期は、セグメント損失9,910千円）となりました。

## 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、連結子会社のプランネットワークス株式会社を通じて、歯科医療従事者と歯科関連企業等をつなぐポータルサイトの運営を中心にリサーチ、コンベンションの運営受託、広告ソリューションの提供及びMR（製薬会社の医薬情報担当者）向けの高級弁当販売のプラットフォームを弁当製造販売業者へ提供する等、様々なサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、基盤となる会員数の増加や営業力強化に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は48,990千円、セグメント損失は2,370千円となりました。なお、医療BtoB事業は、前連結会計年度の第2四半期より連結の対象としているため、前年同四半期との比較は記載しておりません。

## その他

その他の事業においては、事業者向けホームページ制作・メンテナンス、販売代理、人材キャリア事業等を展開しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は105,009千円（前年同四半期比43.1%増）、セグメント利益は1,448千円（前年同四半期は、セグメント損失5,745千円）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,593,916千円となり、前連結会計年度末に比べ42,753千円（前連結会計年度末比2.8%増）の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

### 資産の部

#### （流動資産）

流動資産は、主に売掛金が増加したことにより1,381,172千円となり、前連結会計年度末に比べ54,898千円（前連結会計年度末比4.1%増）の増加となりました。

#### （固定資産）

固定資産は、主にソフトウェアの減価償却及びのれんの償却により、無形固定資産が減少したため、212,744千円となり、前連結会計年度末に比べ12,145千円（前連結会計年度末比5.4%減）の減少となりました。

### 負債の部

#### （流動負債）

流動負債は、インプラント保証件数増加に伴う前受金の増加により、403,042千円となり、前連結会計年度末に比べ11,647千円（前連結会計年度末比3.0%増）の増加となりました。

#### （固定負債）

固定負債は、保証件数の増加に伴うインプラント保証の支出に備える引当金の増加により、8,051千円となり、前連結会計年度末に比べ100千円（前連結会計年度末比1.3%増）の増加となりました。

### 純資産の部

純資産は、剰余金の配当を行った一方、四半期純利益を計上したことにより1,182,821千円となり、前連結会計年度末に比べ31,005千円（前連結会計年度末比2.7%増）の増加となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ77,709千円減少し、756,300千円（対前連結会計年度末比9.3%減）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は30,546千円（前年同四半期は56,473千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上に対し、法人税等の支払、売上債権の増加等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は103,100千円（前年同四半期は69,662千円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券を取得したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5,155千円（前年同四半期は9,673千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,000,000
計	15,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,386,500	5,386,500	東京証券取引所 (マザーズ)	完全議決権株式であり、 株主としての権利内容に 何ら限定のない当社にお ける標準となる株式であ ります。 また、1単元の株式数は 100株となっております。
計	5,386,500	5,386,500		

(注)1. 発行済株式のうち、200,000株は、現物出資(サーバ3台 カラーレーザー1台 240万円)によるものであります。

2. 提出日現在発行数には、平成26年1月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日		5,386,500		286,034		261,034

## (6) 【大株主の状況】

平成25年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
早川 亮	東京都渋谷区	1,404,300	26.07
エムスリー株式会社	東京都港区赤坂一丁目11番44号	808,000	15.00
早川 竜介	東京都渋谷区	256,000	4.75
平川 裕司	東京都杉並区	125,000	2.32
平川 大	さいたま市緑区	103,000	1.91
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	97,100	1.80
マネックス証券株式会社	東京都千代田区麹町二丁目4番1号	90,582	1.68
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町一丁目4	86,600	1.61
山本 大助	大阪市北区	68,800	1.28
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番10号	68,100	1.26
計		3,107,482	57.69



## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,385,400	53,854	権利内容に何ら制限のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,100		
発行済株式総数	5,386,500		
総株主の議決権		53,854	

(注)「単元未満株式」の株式数の欄には、自己株式34株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
計					

(注)当社は、単元未満自己株式34株を保有しております。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	934,009	856,340
売掛金	170,039	221,309
前払費用	170,421	164,541
その他	62,220	148,636
貸倒引当金	10,417	9,656
流動資産合計	1,326,273	1,381,172
固定資産		
有形固定資産	14,185	13,039
無形固定資産		
のれん	134,854	131,287
その他	28,548	20,719
無形固定資産合計	163,402	152,006
投資その他の資産		
その他	57,933	59,867
貸倒引当金	10,633	12,169
投資その他の資産合計	47,300	47,698
固定資産合計	224,889	212,744
資産合計	1,551,162	1,593,916
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27,166	19,076
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	36,695	36,677
前受金	217,198	233,806
その他	100,334	103,482
流動負債合計	391,395	403,042
固定負債		
インプラント保証引当金	7,951	8,051
固定負債合計	7,951	8,051
負債合計	399,346	411,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	261,034	261,034
利益剰余金	583,726	614,593
自己株式	34	34
株主資本合計	1,130,761	1,161,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	712	1,127
その他の包括利益累計額合計	712	1,127
少数株主持分	20,342	20,066
純資産合計	1,151,816	1,182,821
負債純資産合計	1,551,162	1,593,916

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	516,251	620,535
売上原価	249,875	297,909
売上総利益	266,375	322,626
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 207,182	<sup>1</sup> 251,410
営業利益	59,193	71,215
営業外収益		
受取利息	225	492
その他	618	505
営業外収益合計	844	997
営業外費用		
社債利息	-	250
固定資産除却損	-	19
営業外費用合計	-	269
経常利益	60,037	71,944
特別損失		
投資有価証券売却損	-	590
特別損失合計	-	590
税金等調整前四半期純利益	60,037	71,354
法人税、住民税及び事業税	31,018	34,976
法人税等調整額	1,914	400
法人税等合計	29,104	35,377
少数株主損益調整前四半期純利益	30,933	35,976
少数株主損失( )	-	276
四半期純利益	30,933	36,253

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	30,933	35,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	415
その他の包括利益合計	97	415
四半期包括利益	31,030	36,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,030	36,668
少数株主に係る四半期包括利益	-	276

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	60,037	71,354
減価償却費	11,342	10,188
のれん償却額	1,836	3,567
貸倒引当金の増減額（は減少）	1,062	775
インプラント保証引当金の増減額（は減少）	452	100
受取利息及び受取配当金	225	492
支払利息	-	250
投資有価証券売却損益（は益）	-	590
売上債権の増減額（は増加）	37,659	52,806
たな卸資産の増減額（は増加）	32	470
仕入債務の増減額（は減少）	787	8,090
その他	14,992	40,462
小計	52,595	65,428
利息及び配当金の受取額	225	162
本社移転費用の支出	3,015	-
法人税等の支払額又は還付額（は支払）	6,668	35,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,473	30,546
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	100,192
定期預金の払戻による収入	-	100,151
有形固定資産の取得による支出	16,252	1,090
無形固定資産の取得による支出	3,032	1,945
投資有価証券の取得による支出	-	100,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	47,122	-
その他	3,255	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,662	103,100
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	265	-
配当金の支払額	9,938	5,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,673	5,155
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	22,862	77,709
現金及び現金同等物の期首残高	750,200	834,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 727,337	<sup>1</sup> 756,300

## 【注記事項】

( 四半期連結損益計算書関係 )

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
給料手当	57,454千円	67,342千円
広告宣伝費	9,134 "	17,480 "
貸倒引当金繰入額	1,062 "	775 "

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
現金及び預金	827,337千円	856,340千円
預入期間が3か月を超える定期預金	100,000 "	100,040 "
現金及び現金同等物	727,337千円	756,300千円



## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月29日 定時株主総会	普通株式	10,267	2	平成24年5月31日	平成24年8月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月29日 定時株主総会	普通株式	5,386	1	平成25年5月31日	平成25年8月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	276,764	148,229	18,303		443,298	72,952	516,251
セグメント間の 内部売上高又は 振替高			91		91	450	541
計	276,764	148,229	18,394		443,389	73,402	516,792
セグメント利益 又は損失( )	176,620	9,290	9,910		176,001	5,745	170,255

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業、販売代理事業及び人材キャリア事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	176,001
「その他」の区分の利益又は損失( )	5,745
全社費用(注1)	112,410
その他の調整額(注2)	1,347
四半期連結損益計算書の営業利益	59,193

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

医療BtoB事業において、株式取得によりプランネットワークス株式会社を新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、69,218千円であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年6月1日至平成25年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	308,452	136,801	22,839	48,581	516,674	103,860	620,535
セグメント間の 内部売上高又は 振替高				408	408	1,148	1,557
計	308,452	136,801	22,839	48,990	517,083	105,009	622,092
セグメント利益 又は損失( )	196,023	2,853	11,620	2,370	184,886	1,448	186,334

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業、販売代理事業及び人材キャリア事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	184,886
「その他」の区分の利益又は損失( )	1,448
全社費用(注1)	120,531
その他の調整額(注2)	5,412
四半期連結損益計算書の営業利益	71,215

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「その他」に含めておりました「保証事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、前連結会計年度より、子会社化したプランネットワークス株式会社の行う「医療BtoB事業」について単独の報告セグメントとして記載する方法に変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## ( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 6 月 1 日 至 平成24年11月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 6 月 1 日 至 平成25年11月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	6 円02銭	6 円73銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	30,933	36,253
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	30,933	36,253
普通株式の期中平均株式数(株)	5,136,234	5,386,466
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	5 円75銭	6 円73銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	247,923	3,446
(うち新株予約権)(株)	(247,923)	(3,446)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## ( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 1月10日

日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社  
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 和田 芳 幸

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 土 居 一 彦

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社の平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。